

| | | |
|-----------|---|--|
| 科目名 | 文化史概説Ⅱ | |
| 担当者 | 溝上 宏美 / MIZOKAMI, Hiromi | |
| 科目情報 | 人間文化<歴史地理> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次 | |
| 科目概要 | 授業内容 | 近現代イギリス史、イギリス帝国史を、家族やジェンダー、スポーツ、教育制度、食事など様々な文化的側面から外観する。 |
| | 到達目標 | イギリスを事例に、近代社会が形成されていく過程を知ること で、社会の諸制度や異文化を深く理解できるようになるとともに、現代社会や自文化を客観的に捉える力をつける。 |
| 授業計画 | (1) 文化史とは何か (2) イギリス文化とは (3) 宗教とイギリス社会 (4) われら失いし世界—近代以前のイギリス家族 (5) ジェントルマンであること—ヴィクトリア期の価値規範 (6) 貧困とチャリティ (7) 紅茶と砂糖—食文化から見るイギリス (8) 「余暇」の成立—旅行と博覧会 (9) ジェンダーから見るイギリス近代 (10) 学校教育と子ども (11) 「白人の責務」？—ミッシヨナリの帝国 (12) 近代スポーツの誕生 (13) 「帝国経験」と文化 (14) 「イギリスらしさ」の創造—田園都市と環境保護 (15) 「内なる他者」と多文化のイギリス | |
| 自学自習 | 事前学習 | ・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。 |
| | 事後学習 | 授業中に紹介された参考文献を読むこと。時折小テストを実施するので、授業ごとに重要事項の復習をしておくこと。 |
| 使用教材・参考文献 | 【教】教科書は使用しない。授業中に配布するプリントを使用する。 【参】井野瀬久美恵編『イギリス文化史入門』昭和堂 1994年 ISBN 4812294193、ほか、その都度紹介する。 | |
| 成績評価方法と基準 | レポートによる。近代イギリス社会、文化の特質や授業で紹介する議論の内容が理解できているかを評価基準とする。レポート60%、受講態度40%とし、受講態度には時折実施する小テストの結果を勘案する。 | |
| 備考 | | |